

倉吉市

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

- 個別最適な学びの実現：児童生徒が自分のペースで学習できる環境を整備し、学びの進度や内容を最適化する。
- 協働的な学びの促進：オンライン共有ツールやクラウドを活用し、児童生徒同士・教師との協働学習を充実させる。
- 学びの可視化と振り返り：デジタルポートフォリオを活用し、学習の進捗を記録・可視化することで、自己調整学習を促進する。
- 探究的・創造的な学びの推進：ICTを活用した調査・プレゼンテーション・シミュレーション等の活動を充実させ、創造的な学びを育む。

2. GIGA第1期の総括

GIGAスクール構想の実現に向け、令和5年度までに以下の取組を実施し、端末と通信ネットワークの整備を進めてきた。

(1) 端末・通信ネットワークの整備

- 1人1台端末の整備を完了し、全児童生徒が端末を活用できる環境を構築。
- 校内ネットワークの整備を進め、安定した通信環境を提供。

(2) 端末を活用した学びの実践

- 各学校において、オンライン授業・デジタル教材の活用・協働学習ツールの導入を推進。
- 端末を活用した学習活動の実践事例を蓄積し、教育効果の向上を図った。

(3) 明らかになった課題と解決策

- 通信環境の不安定さ → 校内LANの増強、Wi-Fiアクセスポイントの最適配置。
- 端末の運用・管理負担 → 統一管理システムの導入、教職員向け研修の充実。
- 教員のICT指導力のばらつき → 継続的な研修、ICT支援員の活用。

3. 1人1台端末の利活用方策

1.及び2.を踏まえ、今後の端末の利活用方策として以下の取り組みを進める。

(1) 1人1台端末の積極的活用

- 授業での端末活用を標準化し、全教科でICTを活用した指導方法を推進。
- AIドリル・電子教材の導入による個別最適な学習の促進。
- 端末を活用したプレゼンテーションやグループワークの充実。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

- 学習記録をデジタル化し、児童生徒の進捗に応じた指導を実施。
- 学校間・地域間でのオンライン協働学習の機会を創出。
- デジタルポートフォリオを活用した学びの振り返りの充実。

(3) 学びの保障

- 希望する不登校児童生徒への支援として、端末を活用した遠隔学習の機会を提供し、学習継続を支援する。
- 児童生徒向けの教育相談において、端末を活用したオンライン相談を実施し、学習支援やメンタルケアの充実を図る。
- 外国人児童生徒に対する学習活動の支援として、多言語対応の翻訳ツールやICT教材を活用し、言語の壁を軽減する。

- 障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒に対して、ICT支援ツールや遠隔授業を活用し、個別に適した学習環境を整備する。
- 端末を活用した家庭学習支援の充実。
- 特別支援が必要な児童生徒へのICT支援ツールの導入。
- 災害時の遠隔授業実施に備えた体制構築。

(4) 端末の整備・更新

- 児童生徒向けの1人1台端末環境を維持し、適切な更新計画を策定。
- 鳥取県GIGAスクール推進協議会を通じ、地域間での整備・調達の最適化を図る。
- 端末管理システムの導入により、端末の保守・運用の効率化を実現。

4. 計画策定・推進のための体制

本計画の検討に当たっては、以下の点を踏まえた議論を行う。

- 学校現場のヒアリングの実施：GIGA第1期での課題や現場のニーズを反映。
- 文部科学省リーディングDXスクールの先進事例を参考：ICT活用の成功事例を取り入れる。
- 鳥取県GIGAスクール推進協議会を通じた域内連携：他市町村の取組を共有する。
- 教育委員会の指導課・指導主事の参画：指導面と技術面の両面から計画を策定。

5. まとめ

本計画は、1人1台端末の利活用を最大化し、児童生徒の学びの質を向上させることを目的とする。GIGAスクール構想の成果を活かしつつ、学校現場の実態を踏まえた持続可能なICT環境の整備・活用を推進する。